

15歳のポールと14歳のミッシェル。
美しいアルルの自然の中、2人は親になった…。

クラシック・シネマ

『フレンズ ポールとミッシェル』

1970年代、『小さな恋のメロディ』と並び称されたローティーン青春映画の秀作。妊娠出産まで発展する本格的な愛を描いているのが本作の特徴。エルトン・ジョンのオリジナル・ソングをバックにアルルの自然の中を歩く若い夫婦の姿には胸がキュンとすること間違いなし。

忘れられない年上の女性。ノスタルジックなタッチで
描かれる初体験映画の傑作。

クラシック・シネマ

『おもいでで夏』

1942年・夏のニューイングランドの海辺の町を舞台に15歳の少年と若妻との儚い関係。ただの初体験映画ではなく、懐古調の切なさを湛えた文学的な味わいの秀作になったのはミッシェル・ルグランの繊細な音楽とロバート・マリガンの丁寧で優しい演出のおかげ。